

28年度千葉県環境講座報告

“夏休み自然環境学習「海の生きものに会える日」

8月4日(木)、自然環境学習「海の生きものに会える日」を、「南房総市大房岬自然の家」で所長神保清司氏を講師に実施しました。当日は、本当に天候と海況に恵まれた一日でした。

講師から、①大房の海の磯場にはたくさんの生き物が住んでいること、②磯には、流れ着く様々な漂流物とともに様々な生き物の骨が埋まっていること、③潮溜まりでの観察には安全確保のための注意をする必要があること等をお聞きした後、子供はライフジャケット着用し、お借りした観察用採集道具(バケツ、アミ、箱メガネ)を持って、磯へ移動しました。途中、森の道を下っていくと斜面に無数の穴があり、アカテガニのすみかだと教えてもらいました。

海が大好きで、ほっておいても生き物と会っている子や、お母さんが促して用心して海を探検する子など様々なお子さんや保護者の中で、講師の丁寧なご指導により全員が満足していただけたように思います。

後日、参加者から以下のお手紙をいただきました。以下、部分引用させていただきます。

『千葉からバスで大房岬へ行き、とても驚きま

した。空が、海が、大きく広がり、キラキラと輝いていました。海の中に入って、生き物を触れたり探したりして、子供はとても感動していました。ライフジャケットを着てザブザブと水に入り、魚を見つけたり、ウニを手のひらに乗せて、小さい足で動く様子を見たり。たまにごみを見つけては、「困るねえ。生き物にも迷惑だよね。」と話していました。

缶やビニール袋、プラスチックのかけら。この場に少しでもないようにしたいですね。ウミガメやクジラの、骨が浜に流れ着く話を聞けました。

大きな生き物、小さな生き物、自分たちも含めて、地球の生き物として共に生きていけるようにしたいね、と親子で話し合いました。』



(文責 川島 謙治)

夏休み自然環境学習一里山体験報告

千葉県主催環境講座の中で、8月19日に標題の講座を開催しました。

会場は、富里市にある「NPO富里のホタル」の活動地である天神谷津です。県内小学校4年～6年生30名が参加、千葉駅前の集合場所で保護者から児童を預かり会場までバスで移動しました。

講座は富里のホタル会員スタッフが講師を担当され、受講生を二班に分け、次のカリキュラムを午前・午後で交互に体験しました。

I 里山にあるものを使って、ものづくり。

II 里山の生き物と湧き水たんけん。

ものづくり会場は、里山仕様で設営された丸太の玉切りに板を載せたテーブルと椅子です。用意された青竹をノコギリやナタを駆使、不慣れな手付きでスタッフの指導を仰ぎ花器や食器作りを体験しました。中でもパチンコ遊びは超人気。里山仕様の射的場がセットされ、皆が見事に的へ命中?でした。

生き物と湧き水たんけん会場は谷津のフィールドです。長靴に履き替え講師から谷津の地形について説明を受け、以下盛り沢山の体験学習をしました。

①湧き水と水路の水温変化をクイズ形式で調査。

②いきもの採集と観察。

(採集成果)、バッタやイナゴ、水中昆虫のヤゴ、日本アカガエル、水路のシジミその他

③生態系ピラミッドの話で食物連鎖や絶滅危惧種という言葉を知る。

④生き物の保護、採集した生き物はすべて谷津に帰して生態系維持。

体験学習を通して、天神谷津は、生態系ピラミッドが確立された貴重な環境の里山であることを理解し一日の学習を終えました。

自然環境を次世代につなぐということは、今回のような体験講座で広く普及させることも必要であり、また、草の根運動的な地道な保全活動の継続も必要と感じました。(文責 萩原 耕作)



生き物探し



竹を切る